

## 2025年度

### 韮崎市病児・病後児保育所スマイル 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2026年1月6日（火）～1月16日（金）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2026年1月16日（金）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	「思いっきり遊ぶ 思いっきり学ぶ」の理念の中で、病児病後児保育として利用児の体調を考慮しながら、好きな遊びを見つけ安心して過ごせるように努めた。
子どもの発達援助	一人ひとりに寄り添い、個性を大切にしながら安心して過ごせるような言葉かけを心掛けた。状況に応じて、カンファレンスや市と連携を取り合い、見守る体制を整えた。
保護者に対する支援	送迎時に保護者様が抱えている病状についての悩みや様々な不安を受け止め、共感し看護師の立場からアドバイスを行った。保育士よりお迎え時、日中の様子や成長について伝え、安心してもらえるよう対応を行った。
保育を支える組織的基盤	病児保育のあり方について考える機会を設け、共通理解に努めた。チームとして、情報共有をきちんと行っていけるように「報 連 相」を常に意識するように心掛けた。

総評
<ul style="list-style-type: none"><li>・預かる子ちゃんのシステム導入により、情報不足などもありその都度電話連絡をさせていただき、基本橋STEM管理にはなるが柔軟に対応することが出来た。病児保育のあり方についても考える機会を設け、職員間で意見を出し合い前向きに進められるよう取り組んだ。</li><li>・利用の子どもによって対応が変わることもあるので、その都度「この子にとって何が大切か」「子どもの求めていることは何か」を考えながら寄り添い、受け止めていく保育を心掛けた。</li><li>・発達障害児の利用が増えたこともあり、研修など積極的に参加し、自己研鑽に励んでいく。</li></ul>

